



今日のトピック 中国経済は出遅れていた消費が前年比プラスに 順調な回復が続けば、経済成長予想は引き上げへ

ポイント1 小売売上高が前年比プラス

鉱工業生産は5カ月連続プラス

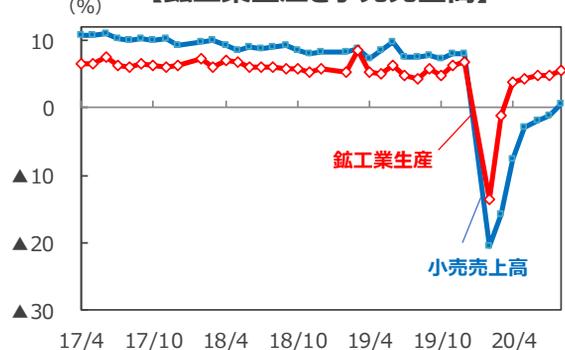
- 中国国家统计局は15日、主要経済指標を発表しました。8月の小売売上高は前年同月比+0.5%と、7月の▲1.1%からプラスに転じました。前年同月を上回るのは昨年12月以来です。業種別にみると、新型コロナウイルスの影響から飲食業は▲7.0%と引き続き出遅れているものの、新車販売が好調な自動車(+11.8%)に加え、化粧品(+19.0%)や宝飾品(+15.3%)などが伸びました。
- 8月の鉱工業生産は前年同月比+5.6%と、7月の+4.8%から伸び率が拡大し、5カ月連続のプラスとなりました。品目別の生産量をみると、在宅勤務で需要が増えたコンピューター(+12.0%)や、産業用ロボット(+32.5%)などが高い伸びとなりました。

ポイント2 固定資産投資はほぼ前年並み

不動産開発投資は3カ月連続プラス

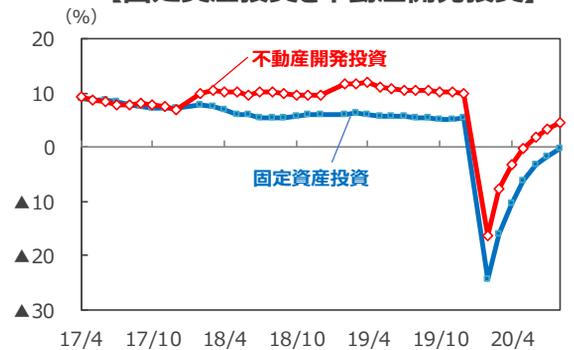
- 1~8月の固定資産投資は前年同期比▲0.3%と、1~7月の▲1.6%から減少率が縮小し、ほぼ前年並みに戻りました。内訳をみると、堅調なマンション販売などから、不動産開発投資が+4.6%と、3カ月連続で前年を上回りました。

【鉱工業生産と小売売上高】



(注) データは2017年4月~2020年8月、前年同月比。(年/月)
各年2月のデータは1~2月の年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【固定資産投資と不動産開発投資】



(注) データは2017年4月~2020年8月、年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 順調な回復が続けば、市場の経済成長予想は引き上げへ

- 8月の主要経済指標はいずれも市場予想を上回り、中国景気の回復ペースが加速していることを示しました。特に、高額品の販売回復など、これまで出遅れていた消費に明るさが見え始め、景気回復は生産から投資、消費へと広がりとみられます。こうした状況の下で、弊社は、中国政府が景気過熱への警戒感から追加の景気対策を行わないと想定しており、2020年の実質GDP成長率見通しを+2.6%と予想しています。このまま中国経済が順調な拡大を続けられれば、+2.1%成長見込みに止まる市場予想が上方修正される可能性があります。

ここも
チェック! 2020年9月15日 運用者の視点：中国の『食品浪費』
2020年8月17日 中国の鉱工業生産は4カ月連続プラス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。